

総務省：  
みんなのアクセシビリティ評価  
ツール miChecker を用いた  
評価について

2012年5月29日

渡辺昌洋

NTTサイバーソリューション研究所

はじめに

- 高齢者の社会参加のためにも、ウェブアクセシビリティ(ウェブが利用できるようにすること)はますます重要になる。
- ガイドライン(JIS X 8341-3)にしたがったウェブデザインが必要になる。
- JIS X 8341-3:2010  
高齢者・障害者等配慮設計指針  
— 情報通信における機器, ソフトウェア及びサービス—  
第3部: ウェブコンテンツ

miChecker を用いた評価について

1. JISに基づく試験方法

- JWAC品質維持向上部会での検討

2. miChecker の使い方

3. 実演コーナー

- セミナ参加者の皆さんにmiCheckerを体験していただきます

16:00 ~	総務省：みんなのアクセシビリティ診断ツールmiCheckerを用いた診断について ※高齢者の社会参加に不可欠なウェブアクセシビリティについて、客観的な診断方法の解説を行います。	日本電信電話株式会社 サイバーソリューション研究所 渡辺 昌洋
16:10 ~	miChecker 実演コーナー	

JISの規定 (8.2 試験の手順)

- a) 試験環境の確認
- b) 実装チェックリストの作成
- c) 試験対象の特定
- d) 試験
- e) 達成基準チェックリストの作成

- JIS X 8341-3:2010 試験実施ガイドライン 2010年8月20日
- ウェブアクセシビリティ基盤委員会 (WAIC) 作成
- <http://waic.jp/docs/jis2010-test-guidelines/>

7.1.3.2の実装チェックリスト例

項番	実装方法	適合	適用	試験方法	注記	状況番号-項目	関連する実装テクニック	検証方法
1	コンテンツを意味のある順序で並べる					2,3	G57 C27	<a href="#">G57</a>
2	単語の文字間にスペースやタグを用いない					2-4	C8	単語(日本語だけでなく)の文字間にスペース、タグを挿入して整形していないか確認する。

## miCheckerを使ったJISに基づく試験フロー

### 1. 使用準備

- ・ 総務省ウェブページからmiCheckerをダウンロード
- ・ ワークシートの最新版をダウンロード



### 2. miCheckerによるチェック

- ・ 対象ページをチェックし、csvファイルで保存



### 3. 人手によるチェック

- ・ csvで保存したチェック結果をワークシートに貼り付け
- ・ ワークシートのテスト方法に基づき人手でチェック



### 4. JIS規定の実装チェックリストへの記入

- ・ ワークシートでのチェック結果を実装チェックリストに転記



## miCheckerを使ったJISに基づく試験フロー (JWAC検討版)

### 1. 使用準備

- ・ 総務省ウェブページからmiCheckerをダウンロード
- ・ JWAC作成のワークシートを用意



### 2. miCheckerによるチェック

- ・ 対象ページをチェックし、csvファイルで保存



### 3. 人手によるチェックと

#### JIS規定の実装チェックリストへの記入

- ・ csvで保存したチェック結果をJWAC作成のワークシート\*に貼り付け
- ・ ワークシートのテスト方法に基づき人手でチェック

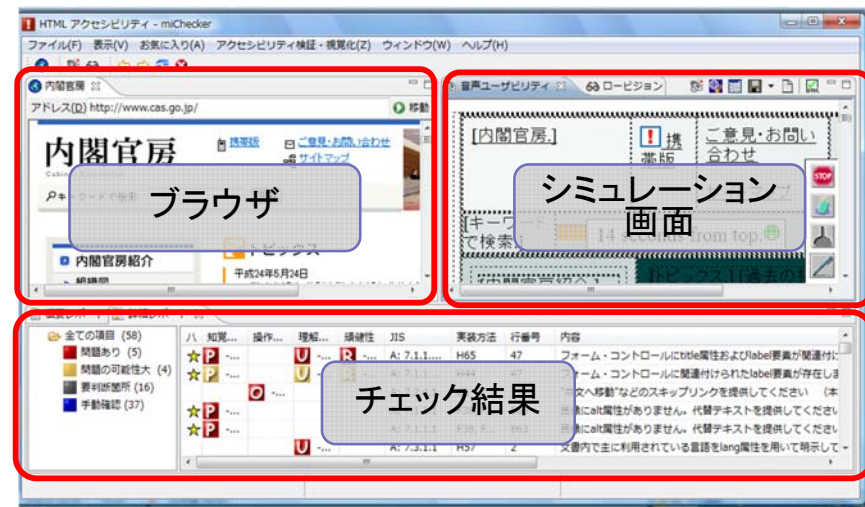


\*JWAC作成のワークシート: 未公開。実装チェックリストと対応しているため、ワークシートに記入すれば実装チェックリストを作成したことになる。

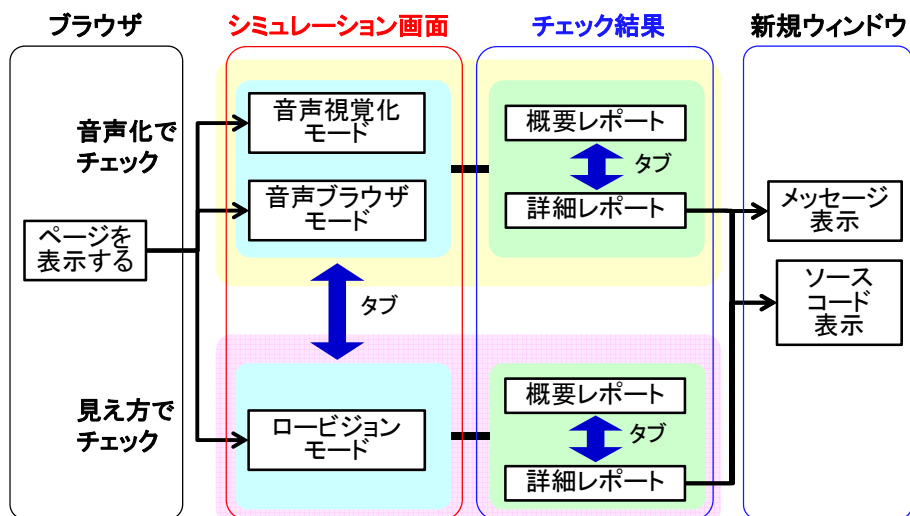
## miCheckerを使ったチェック方法

1. ページを表示する
2. チェックする(自動チェック)
3. チェック結果を見る
4. チェック結果を保存する
5. チェック結果をワークシートに貼り付ける
6. 人手でチェックする
7. 実装チェックリストを作成する

## miCheckerの画面構成

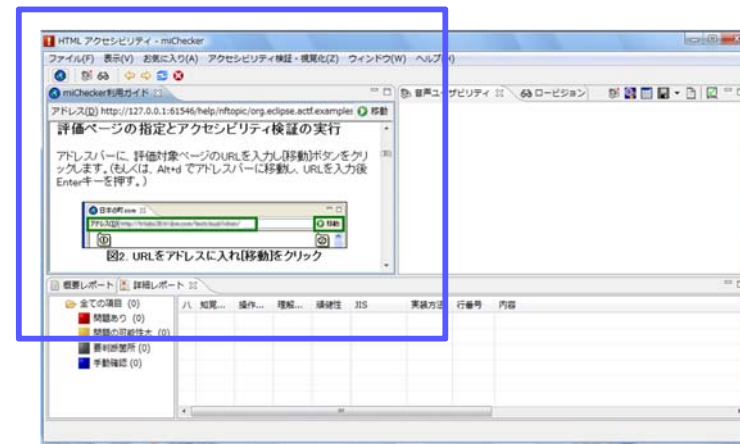


## miCheckerの主な遷移



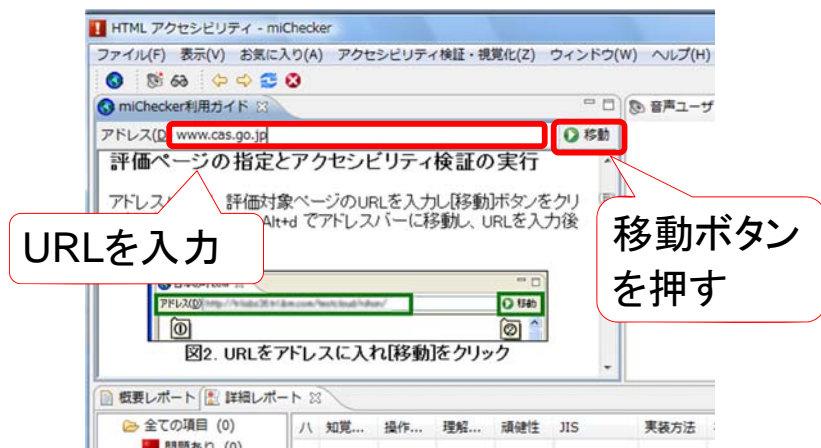
## 1. ページを表示する

- チェックするページのURLを入力し、移動ボタンを押します。



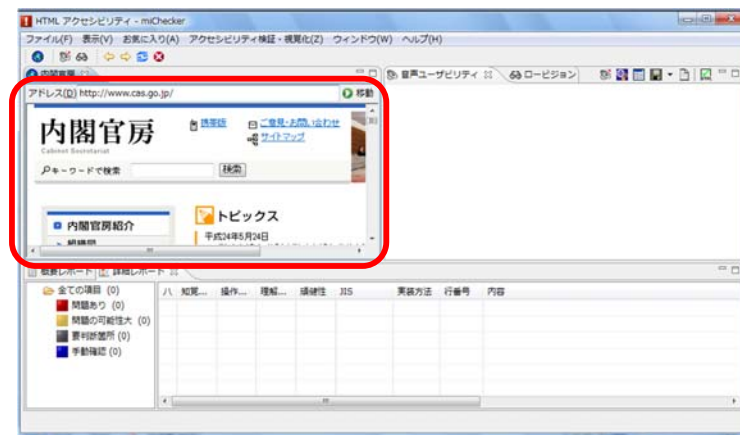
## 1. ページを表示する

- チェックするページのURLを入力し、移動ボタンを押します。



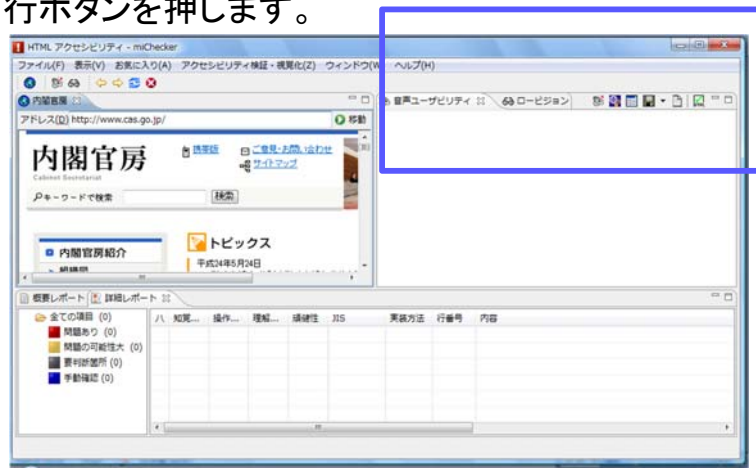
## 1. ページを表示する

- ページが表示されました



## 2. チェックする

- アクセシビリティ検証・音声ユーザビリティ視覚化実行ボタンを押します。



## 2. チェックする

- アクセシビリティ検証・音声ユーザビリティ視覚化実行ボタンを押します。

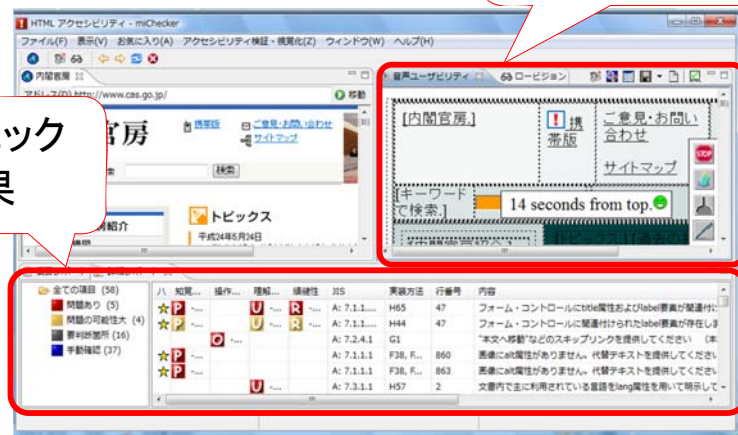


## 2. チェックする

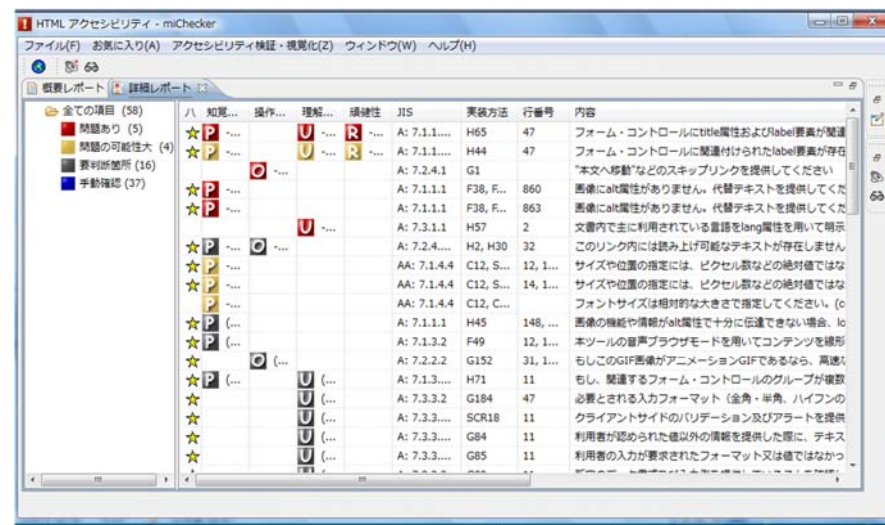
- 結果が表示されました。

シミュレーション画面

チェック結果



## 3. チェック結果を見る 詳細レポート

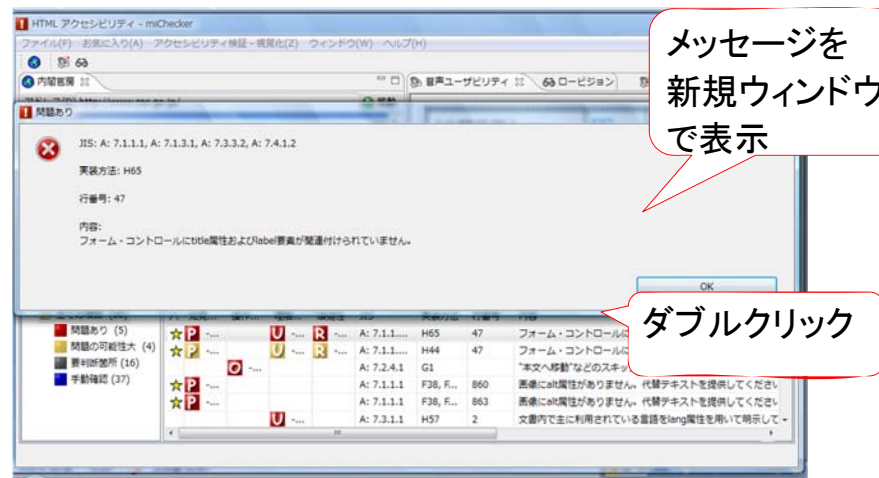


### 3. チェック結果を見る

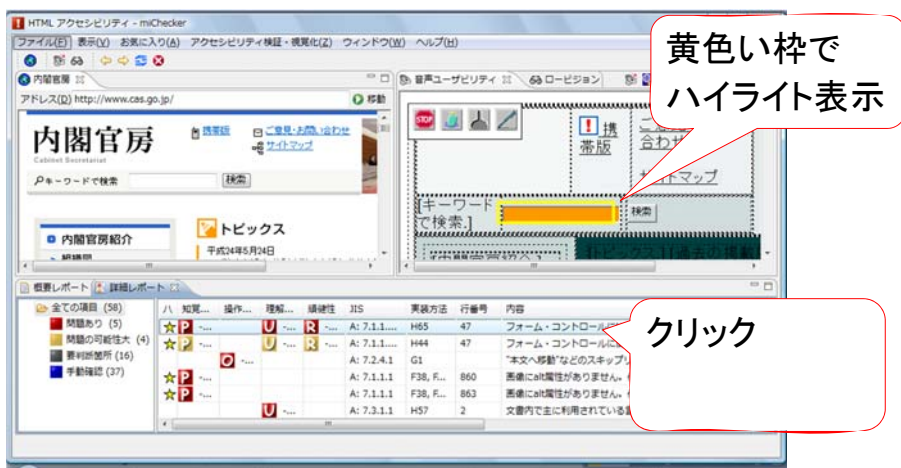
- チェック結果が「問題あり」以外は、人手による確認が必要
- 行番号が表示される場合とされない場合がある

詳細レポートのメッセージ	対象の指摘	人手による確認	備考
問題あり	あり	不要	
問題の可能性大	あり	必要	問題のある可能性が高い
要判断箇所	あり	必要	問題のある可能性が高いわけではない
手動確認	なし	必要	

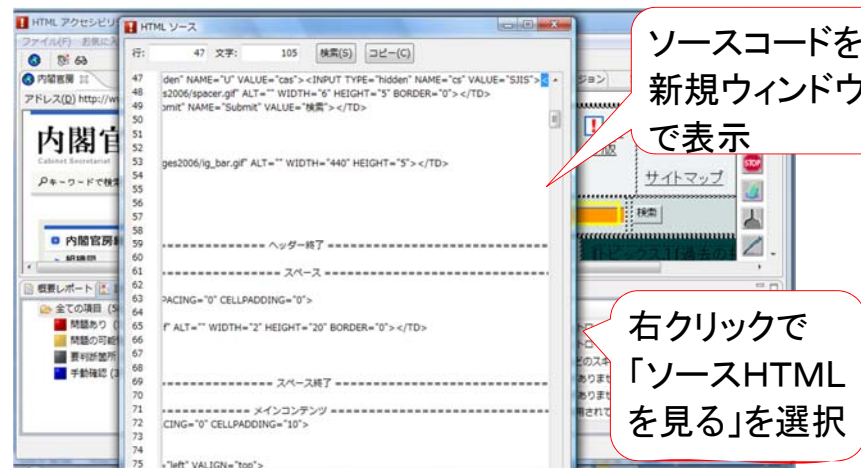
### 3. チェック結果を見る



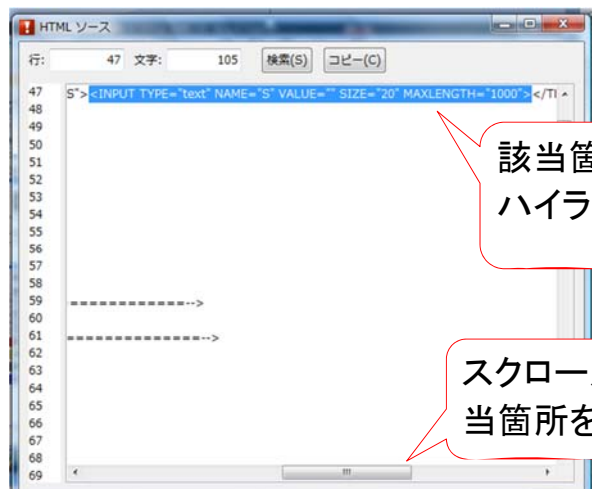
### 3. チェック結果を見る



### 3. チェック結果を見る



### 3. チェック結果を見る

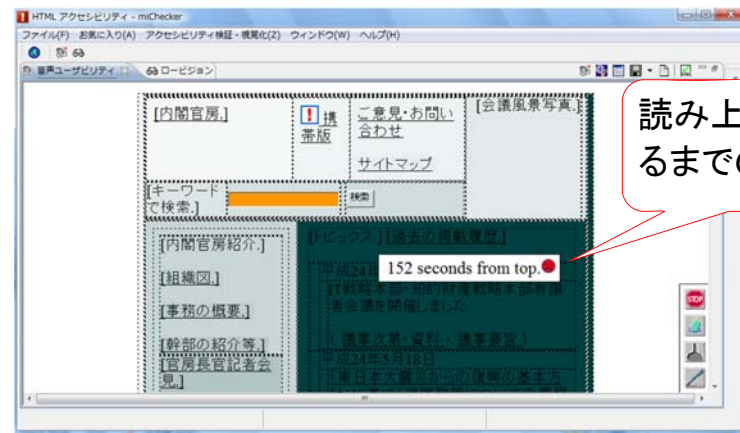


該当箇所が  
ハイライトされる

スクロールして該  
当箇所を表示

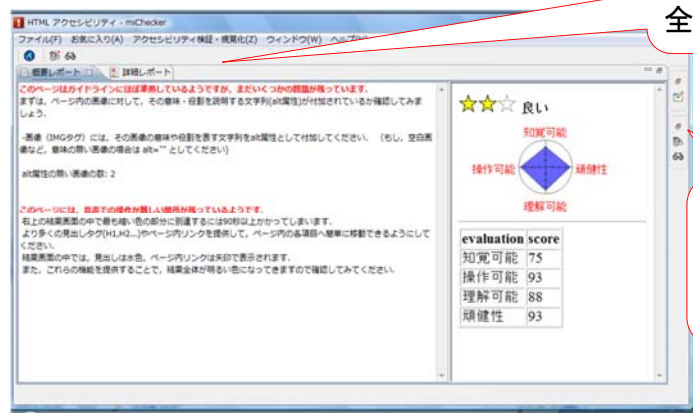
### 3. チェック結果を見る シミュレーション画面

#### ■ 読み上げられるまでの時間を背景色で表現



読み上げられ  
るまでの時間

### 見にくいときは全画面表示

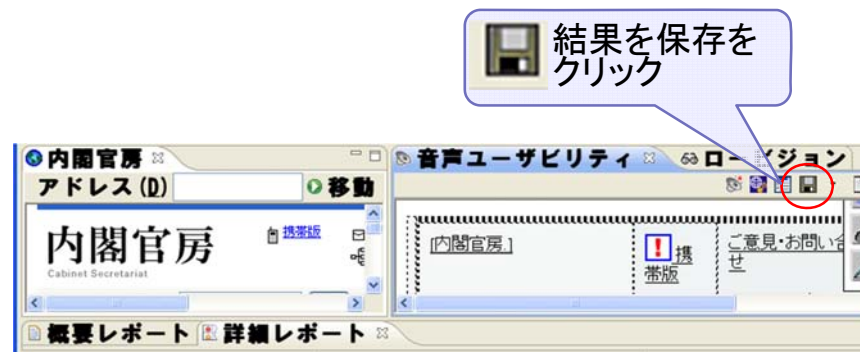


タブをダブルク  
リックすると  
全画面表示

「復元」ボタ  
ンで元のレ  
イアウトに  
なる

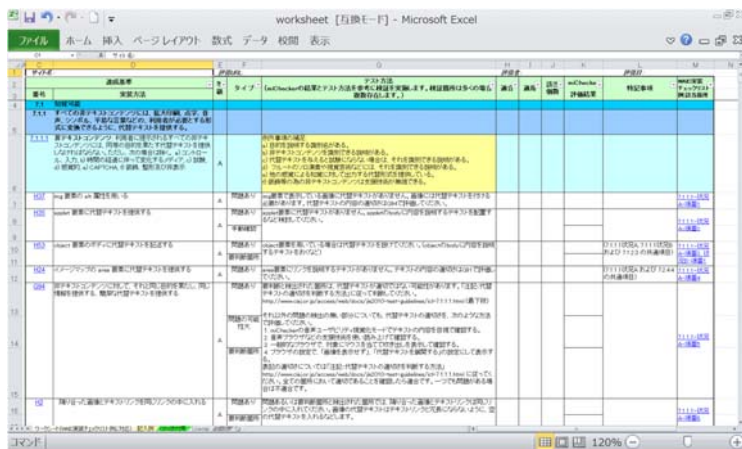
### 4. 結果を保存する

「結果を保存」ボタンを押し、CSV形式で保存します。



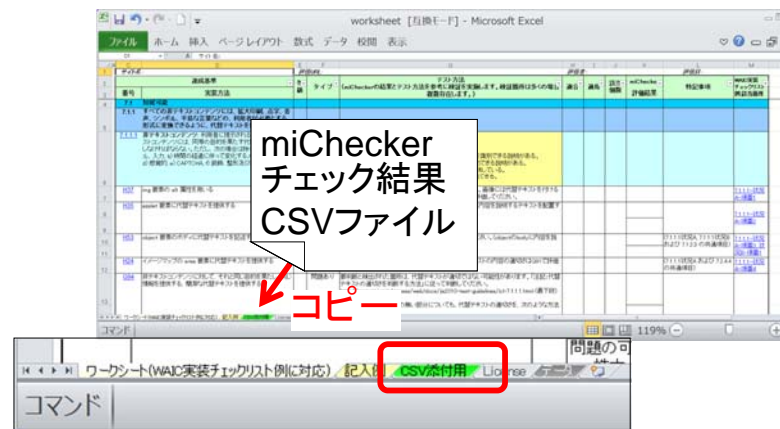
# ワークシート最新版:ACTFのページ

eclipseのACTFのページから最新版が入手できます。



# 5. チェック結果をワークシートに貼り付ける

保存したCSVファイルをワークシートのCSV添付用タグのシートに貼り付ける



# 6. 人手でチェックする

- 「問題あり」以外の結果について、テスト方法に基づいて人手で確認し、結果を記入する
- 問題がある部分はコンテンツを修正する

評価URL	評価者	テスト方法	適合	適用	該当	評価結果
タイプ	(miCheckerの結果とテスト方法を参考に検証を実施します。検証箇所は多くの場合複数存在します。)		適合	適用	該当	評価結果
A	例外事項の補足 a) 目的を説明する識別名がある。 b) 非テキストコンテンツを識別できる説明がある。 c) 代替テキストを有すると同時に十分な場合は、それを識別できる説明がある。 d) フラッシュの演義や視覚芸術などには、それを識別できる説明がある。 e) 他の感覚による知識に於て出力する代替形式を提供している。 f) 裝飾等の為の非テキストコンテンツは支援技術が無視できる。					
A	問題あり img要素で表示している画像に代替テキストがありません。画像には代替テキストを付ける必要があります。代替テキストの内容の適切さはG94で詳細してください。		○	—	0	0
A	問題あり apple要素に代替テキストがありません。appleのbodyに内容を説明するテキストを配置するなど検討してください。		○	—	0	0
A	手動確認				0	0

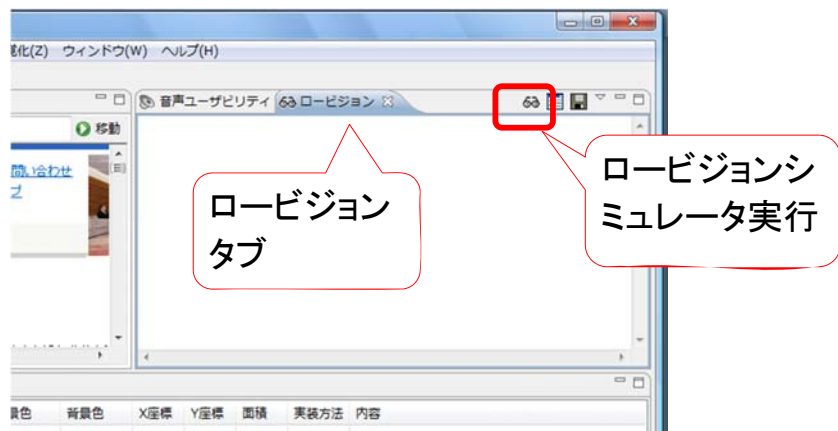
# 7. 実装チェックリストに記入する

ワークシートのチェック結果を対応する項目に転記する



※JWAC作成のワークシートであれば転記の必要なし

## (参考)2. チェックする ロービジョンモード



## (参考)3. 結果を見る ロービジョンモード



## JWACサイトでの試験方法の紹介

<http://www.jwac.or.jp/>

試験に必要なツールや情報のリンクがあります。

